

研究に関するお知らせ

1. 研究課題名

「電子カルテにおける登録病名へのレセプト請求医療費按分計算値に基づく有効病名選択手法の確度に関する研究」

研究者氏名：

- 1) 大江 和彦 東京大学大学院医学系研究科 医療情報経済学分野 教授（研究代表者）

2. 研究の概要

2.1 目的

本研究は、電子レセプトに出力される病名と医療行為の対応関係の強さを数値化して、実際にその月の診療に関係した病名と、その月には診療に直接関係しなかった病名とをコンピュータで自動判別する手法を評価することを目的とします。

2.2 研究方法および対象者

2012年5月1日から2013年3月31日の間のうちから6ヶ月間の電子レセプトデータを処理して病名と医療行為の対応関係の強さをコンピュータプログラムにより数値化するとともに、その対象者の外来担当医自身がカルテからそれを判定し、両者を比較し、この手法の評価を行います。

具体的には、東大病院の内科系診療科、外科系診療科の外来担当医が外来診療を担当する東大病院の患者であって、2012年5月から2012年8月の期間に外来診療を複数回受け、この間に入院していない患者で、登録済み病名数が5以上の患者について、ランダムに各医師ごとに5名抽出し、その対象者について対象期間6ヶ月を定め各月のレセプトデータを対象データとします。既存の診療で作成された記録からデータ処理することになりますので、新たに患者さんに調査を行うことはありません。

3. 研究が行われる機関または実施場所

- 1) 東京大学医学部附属病院 企画情報運営部 （研究全体統括、データ処理、医師の判定情報取得、データ管理）
2) 株式会社データホライゾン（研究協力企業） （データ処理プログラム開発）

4. 研究における倫理的配慮について

本研究で解析に利用する診療データは、個人情報の保護に十分配慮し、対象となる電子レセプトデータをCD-ROMに記録したうえで東大病院内の個人情報管理区域であるコンピュータサーバ室内でオフラインコンピュータ上で処理し、CD-ROMは施錠ロッカー中で管理し、研究終了後は6ヶ月以内に粉碎処理します。同コンピュータ上では処理結果を患者識別情報を含まず症例順序番号だけで管理します。本研究は、研究協力企業である株式会社データホライゾンとの合同で行われますが、すべての個人識別情報を含むデータは東大病院内でのみ管理され、同社に提供されることはありません。研究成果は、研究報告書、学術論文、学会発表を通じ公表することを予定しています。

なお、本研究は、東京大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会の審査・承認を得ております。開示請求等の手続きは「東京大学個人情報開示等に関する規則」（東大規則第328号）に従って行います。

5. 本研究に関する連絡先：

〒112-0002 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学医学部附属病院 企画情報運営部長 大江和彦

電話：03-5800-6427